

敦賀市

観光振興計画

2023年度→2025年度



敦賀駅西地区(TSURUGA POLT SQUARE「otta」)



人道の港 敦賀ミュージウム

令和5年3月

敦 賀 市

目次

1. 計画の策定に当たって	1
1-1 計画策定の趣旨・目的	1
1-2 計画の概要	1
2. 北陸新幹線敦賀開業に向けた動向	2
2-1 社会状況の変化	2
2-2 国内旅行の状況	6
2-3 訪日外国人旅行者の状況	8
2-4 国・県の動向	9
2-5 敦賀観光関連プロジェクト	12
3. 敦賀市観光振興計画(平成25年度策定)の進捗状況	14
4. 課題の整理	16
5. 観光振興計画	19
5-1 基本方針	19
5-2 基本方針と施策の推進	21
6. 推進体制と進行管理	40
6-1 役割分担と推進体制	40
6-2 推進体制	40
6-3 進捗評価	41

1. 計画の策定に当たって

1-1 計画策定の趣旨・目的

現在の敦賀市観光振興計画は、本市の観光振興の基本的な考え方を示すとともに、その実現に向けた具体的な施策を示す計画として、平成 25 年(2013 年)3 月に策定しました。

また、令和6年(2024 年)春の北陸新幹線敦賀開業に向けては、開業効果を最大限に引き出すことができるよう、「いつ・誰が・何を・どのようにすべきか」といった具体的な取組方針を定めた「北陸新幹線敦賀開業に向けた敦賀市行動計画」を平成 31 年(2019 年)3 月に策定しています。

現観光振興計画の進捗状況を踏まえるとともに、新型コロナウイルス感染拡大による社会の変化や北陸新幹線敦賀開業を本市の観光振興の転換期と捉え、「北陸新幹線敦賀開業に向けた敦賀市行動計画」を包括し、開業前後の令和 5 年度(2023 年度)から令和 7 年度(2025 年度)までの期間に絞った敦賀市観光振興計画を策定します。

1-2 計画の概要

(1)計画の位置付け

本計画は、本市及び周辺地域が抱える観光に関する課題を踏まえつつ、国・県が示す観光に関する計画と整合性を図り、「第7次敦賀市総合計画」や「北陸新幹線敦賀開業に向けた敦賀市行動計画」等の方針に基づき、本市ならではの観光施策を総合的かつ戦略的に推進するための具体的な方策を示すものです。

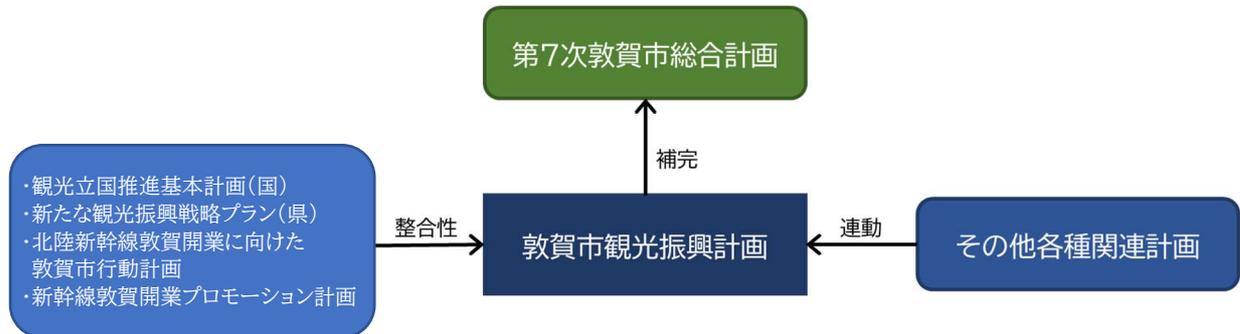


図 1 計画相関図

(2)計画期間

本計画は、令和 5(2023)年度から令和 7(2025)年度までの 3 年間を対象期間とします。

表 1 計画期間

	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
敦賀市観光振興計画										
第7次敦賀市総合計画										
北陸新幹線敦賀開業に向けた敦賀市行動計画										
新幹線敦賀開業プロモーション計画										
					北陸新幹線敦賀開業 ▲		▲ 大阪・関西万博開催			

2. 北陸新幹線敦賀開業に向けた動向

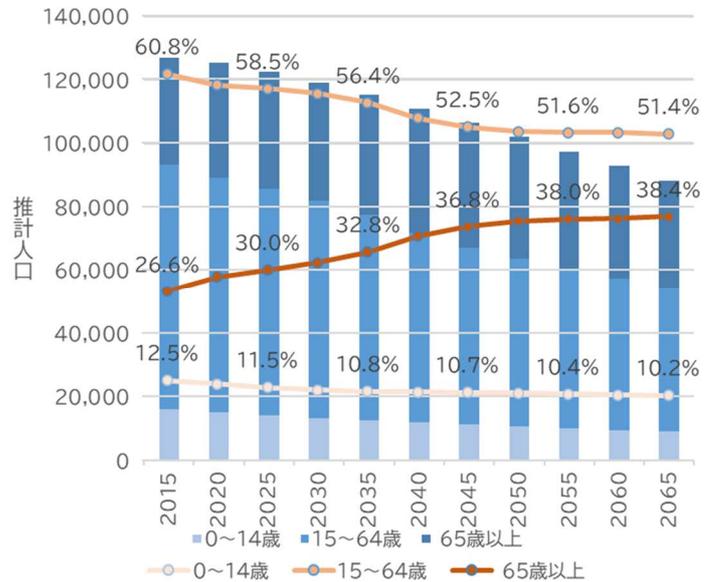
2-1 社会状況の変化

(1)人口減少・少子高齢化の進行

我が国の総人口は、2008年をピークに減少に転じて以降、人口減少に歯止めがかからず、「日本の将来推計人口」では2053年に1億人を割り込み、2065年には8,808万人まで減少すると予測されています。

また、2065年には高齢化率が約38%になり、生産年齢人口も継続的に減少すると推計されています。

今後の人口減少や高齢化による地域経済活動の更なる縮小が予想されるため、交流人口や関係人口を拡大し、観光消費による地域経済の補完や活性化が必要不可欠となっています。



資料:国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)」

図2 日本の将来推計人口

(2)新型コロナウイルス感染症の影響

世界における新型コロナウイルス感染症の拡大は、入国制限や海外渡航禁止等の措置により、訪日外国人旅行者数や旅行消費額が大幅に減少し、国内の観光産業に大きな打撃を与えています。

観光は全国で約900万人の方が従事する産業で、観光立国の実現に向けて、まずは観光回復の大前提となる感染拡大防止の対策を徹底することが重要です。そのうえで、当面の回復を担う日本人国内旅行の需要を強力に喚起させ、時代に応じた新たな旅行スタイル(ワーケーション※1、マイクロツーリズム※2、サステナブルツーリズム※3)等の普及により、旅行需要を分散させて混雑や密を低減させていく必要があります。

また、国内外の感染状況を見極めたうえで、インバウンドの段階的な復活に向けた取組を進めていく必要があります。

※1 英語の Work(仕事)と Vacation(休暇)の合成語。リゾート地や地方部など、普段の職場とは異なる場所で働きながら休暇取得を行うこと。あるいは休暇と併用し、旅先で業務を組み合わせる滞在のこと。

※2 新型コロナの流行をきっかけに感染防止の観点で広がった、「地元」で観光する近距離旅行の形態のこと。公共交通機関の利用を避けた自家用車による移動を中心とし、地域の魅力の再発見と地域経済への貢献を念頭に置いた旅行形態

※3 観光地の本来の姿を持続的に保つことができるように、観光地の開発やサービスのあり方を見定め旅行の設定を行うこと。マストツーリズムの進展により、環境汚染や自然破壊などの現象が見られるようになった。この反省から、地域の文化や自然環境に配慮し、本物を体験し味わうことなどを通じ、観光地に住む住民と観光客とが相互に潤うことが重要との考えが生まれてきた。

(3)SDGsの推進

SDGs(持続可能な開発目標)では、17の目標と169のターゲットが定められており、目標達成に向けて観光分野への期待が明記されているのは、SDGsの17の目標のうち、目標8(働きがいも経済成長も)目標12(つくる責任つかう責任)目標14(海の豊かさを守ろう)となっております。

これは、観光が有形・無形の文化遺産や自然環境に配慮しつつ、地域の雇用や収入を生み出し、その持続可能な発展の推進力となることへの期待を表すものとして明示されています。

また、第7次敦賀市総合計画において、SDGsの理念を踏まえた持続可能なまちづくりの実現に向けて一体的に取り組んでいくこととしています。



図 3 総合計画とSDGsの体系

(4)北陸新幹線敦賀開業

令和6年春の北陸新幹線敦賀開業により、東京をはじめ、大宮、高崎などの関東地方や長野、糸魚川など信越地方から、乗り換えなしで敦賀に訪れるようになります。北陸及び信越の主要駅から敦賀駅までの所要時間が大幅に短縮されるため、ビジネスでの出張や日帰り小旅行などで来訪しやすくなります。

また、北陸新幹線敦賀開業後の令和6年秋(10月1日～12月31日)には、JRグループ6社と地方行政、地元観光事業者等が一体となって取り組む北陸デスティネーションキャンペーンを実施します。



資料：北陸新幹線敦賀開業に向けた敦賀市行動計画

図 4 関東・東海・関西エリアの将来路線図

表 2 北陸デスティネーションキャンペーンにおける主な事業について

事業	内容
全国宣伝販売促進会議	全国の旅行会社、JR グループ等関係者及びマスコミ関係者を対象にキャンペーン期間中の観光素材についての概要説明及び観光地視察を行い、北陸への旅行商品の造成、販売を働きかける。 開催日程 2023 年 秋 開催 県 福井県
オープニングイベント	キャンペーンのスタートとして、旅行者への歓迎イベント等を開催し、北陸の魅力を発信する。 開催日程 2024 年 10 月 開催 県 石川県
デスティネーション キャンペーンイベント	キャンペーン期間中の魅力づくりとして、北陸の魅力を発信し、盛り上げりを醸成する。 開催日程 2024 年 秋 開催 県 富山県

資料：北陸デスティネーションキャンペーン実行委員会 令和4年(2022年)8月2日資料

(5)大阪・関西万博

令和7年に開催される大阪・関西万博は、この時代に、「いのち」をテーマに掲げる万博として、世界が一つの「場」に集う機会となります。

本万博を契機として世界の多様な価値観が交流し合い、新たなつながりや創造を促進し、世界的な危機を乗り越え、一人一人のいのちを守り、いのちの在り方、生き方を見つめ直すことで、未来への希望を世界に示す万博となることを目指しています。

また、本市としても大阪での万博開催を好機ととらえ、認知度向上、観光誘客、ビジネスチャンス拡大等、万博効果を取り込む必要があります。

表 3 大阪・関西万博の概要

項目	内容
名称	2025 年日本国際博覧会(大阪・関西万博)
会場	夢洲(大阪府大阪市臨海部)
開催期間	令和7年(2025年)4月13日(日曜日)～10月13日(月曜日) ※ 1970 年の大阪万博 ^{※1} 、2005 年の愛・地球博 ^{※2} に続き、日本で 3 度目の開催
テーマ	いのち輝く未来社会のデザイン (Designing Future Society for Our Lives)
サブテーマ	Saving Lives(いのちを救う) Empowering Lives(いのちに力を与える) Connecting Lives(いのちをつなぐ)
コンセプト	People's Living Lab(未来社会の実験場)
来場客数(想定)	約2,820万人、うちインバウンド 350 万人(見込)
目標	持続可能な開発目標(SDGs)達成への貢献、日本の国家戦略 Society5.0 の実現
経済波及効果(試算値)	約2兆円

※1 1970 年の大阪万博は、「人類の進歩と調和」というテーマで開催され、近未来的な展示内容や各国のパビリオンが来場者を魅了しました。

日本を含む 77 개국、4 国際機関が参加し、総来場者数は約 6,422 万人にのぼり、経済効果は約 5 兆円規模となりました。

※2 2005 年の愛知万博は、「愛・地球博」をテーマに掲げ「自然の叡智、地球上のすべてのいのちを大切に、持続可能な社会を実現する」という課題のもと、自然と文化・文明の共存する地球をイメージしました。

日本を含む日本の万博史上最多 121 개국、4 国際機関が参加し、総来場者数は 2,204 万 9,544 人にのぼり、経済効果は約 3 兆円となりました。



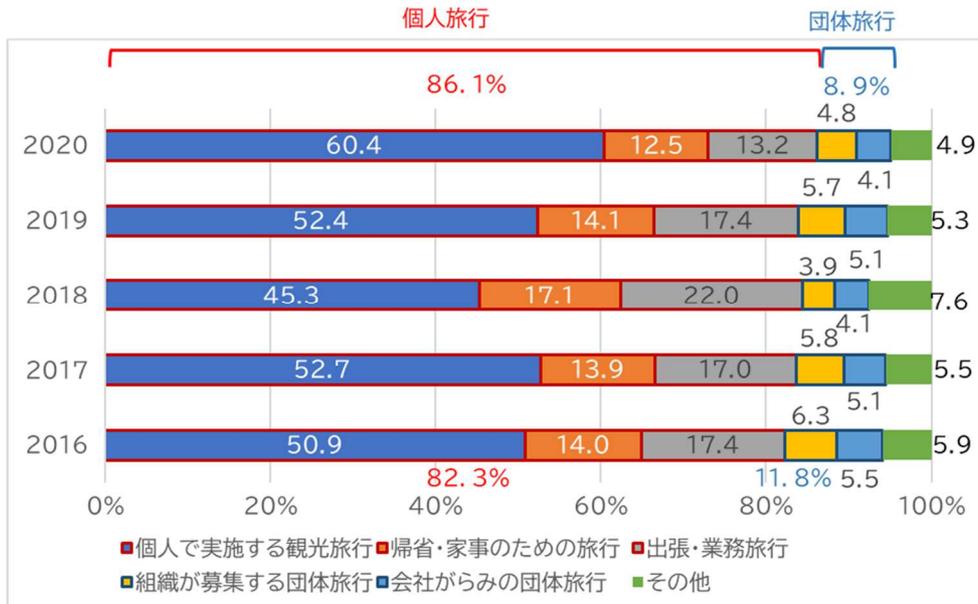
資料:大阪・関西万博基本計画

2-2 国内旅行の状況

(1)日本人国内旅行の旅行形態

日本人国内旅行の旅行形態(個人・団体)別の市場シェアをみると、個人旅行が主流となっており、年々増加傾向にあります。令和2年(2020年)では個人旅行が全体の86.1%を占めており、「個人で実施する観光旅行」が最も大きなシェアを占めています。

また、令和2年(2020年)においては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、個人旅行のうち、「出張・業務旅行」や団体旅行(「組織が募集する団体旅行」と「会社がらみの団体旅行」)の割合が減少しています。



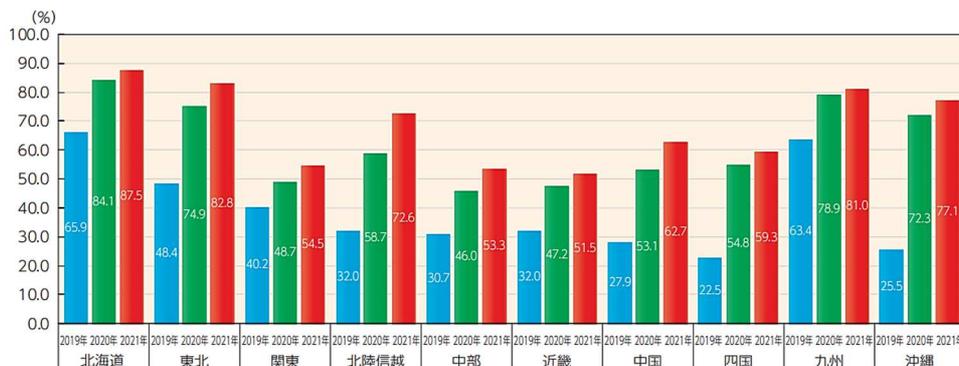
資料:「旅行者調査」(公財)日本交通公社

図 5 旅行形態別の旅行市場シェア

(2)旅行スタイルの変化

国内における旅行スタイルは、新型コロナウイルス感染症の影響下において以下の点で変化がみられます。

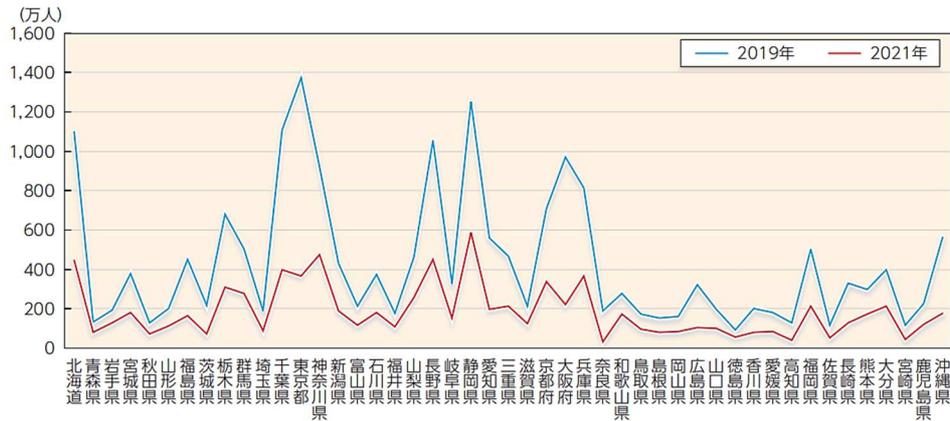
- ・近隣化… 居住地から近隣の観光地を目的として旅する「マイクロツーリズム」化。(これまであまり注目されてこなかった地域資源が再評価。)



資料:「旅行・観光消費動向調査」

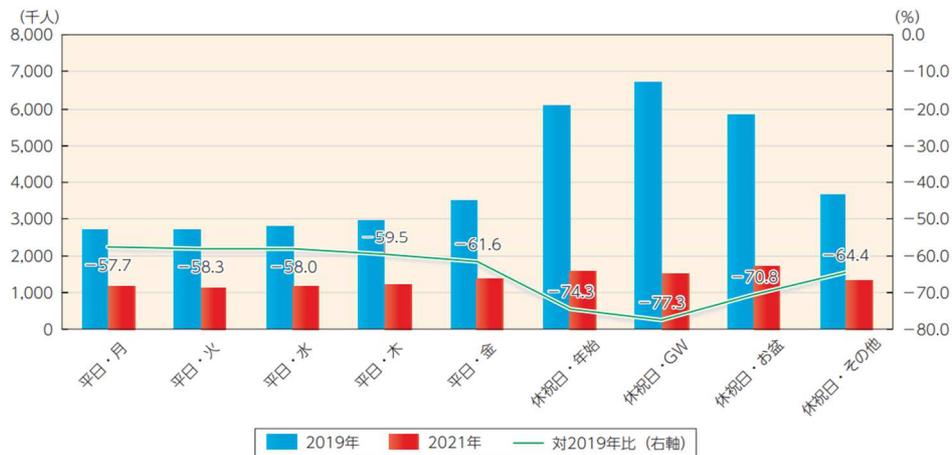
図 6 居住エリア別地域ブロック内の域内旅行者割合

・分散化… 混雑を避けて人の少ない時期や地域を選ぶなど旅行日や旅行先の分散化傾向。



資料:「旅行・観光消費動向調査」

図 7 都道府県別延べ旅行者数



資料:「旅行・観光消費動向調査」

図 8 曜日別国内旅行者数増減

(3)今後の動向

国は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けを令和5年(2023年)5月8日から季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げ、「ウィズコロナの取組をさらに進め、家庭、学校、職場、地域、あらゆる場面で、日常を取り戻すことができるよう、着実に歩みを進める」との考えを示しており、令和5年(2023年)以降の国内旅行の回復を後押しするものと思われます。

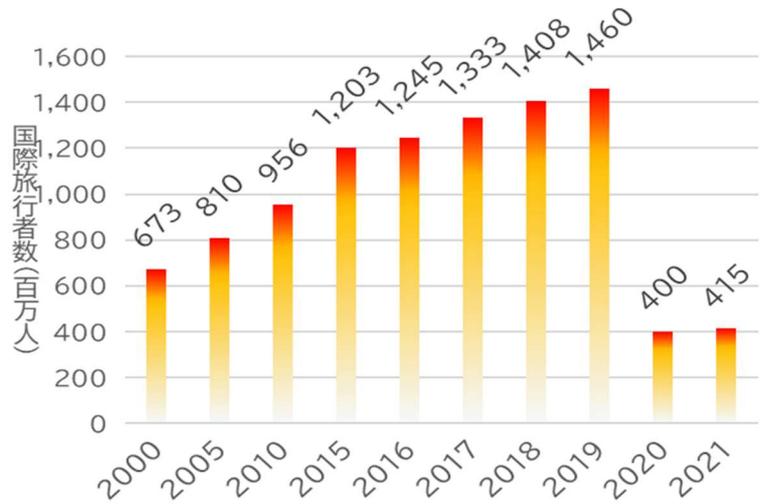
また、個人旅行の比率は、新型コロナウイルス感染拡大以前から緩やかに上昇しており、その傾向は継続するとみられます。同様に、マイクロツーリズム、旅行時期・旅行地域の分散化の傾向も続くと思われており、今後の動向を注視していく必要があります。

2-3 訪日外国人旅行者の状況

(1) 国際旅行者数の推移

世界的な国際旅行者数は増加傾向となっており、令和元年(2019年)には、14.6億人と過去最大となりました。

令和2年(2020年)は新型コロナウイルス感染症の拡大により4億人まで大幅に減少しましたが、UNWTO(国連世界観光機構)の令和4年(2022年)1月発行世界観光指標によると、64%の専門家が新型コロナ影響前(令和元年)の水準に戻るの、令和6年(2024年)頃と見通しを立てており、数年かかる見通しであるものの、いずれ国際旅行者数は回復するものと見込まれています。



資料:国連世界観光機関

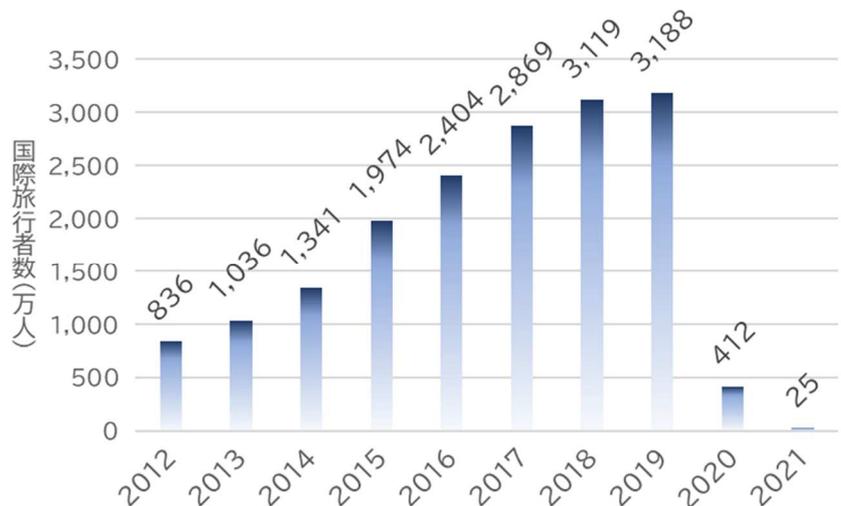
図 9 国際旅行者数の推移

(2) 訪日外国人旅行者数の推移等

日本全体の訪日外国人旅行者数は、平成24年(2012年)以降増加し、平成28年(2016年)には2,000万人、平成30年(2018年)には3,000万人を突破しました。

令和元年(2019年)には3,188万人と過去最高を記録しましたが、令和2年(2020年)には世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大により、入国制限や海外渡航禁止等の措置が取られ、前年比87.1%減の412万人と激減し、令和3年(2021年)には24.6万人となりました。

令和4年(2022年)10月に、海外からの個人旅行の受け入れや入国ビザ免除の再開などの水際対策の緩和措置が実施され、12月の訪日外客数は、令和元年同月と比較すると約55%まで回復しています。また、令和4年11月には、国際クルーズの受入再開が発表され、今後、回復するものと見込まれています。



資料:国連世界観光機関

図 10 訪日外国人旅行者数の推移

2-4 国・県の動向

(1) 国の施策と動向

国では平成28年(2016年)3月に「明日の日本を支える観光ビジョン」を策定し、5つの目標を掲げて観光先進国の実現を目指していました。

しかし、観光業は、昨今の新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により深刻な打撃を受け、国は観光業の復活のため、事業の継続や雇用維持への支援、感染拡大防止対策の徹底、国内需要喚起、観光業・観光地の収益性向上等、観光産業の回復を図るための様々な施策を打ち出しています。

また、感染リスクを低減させるための新たな旅のスタイルとして、分散型旅行やオンラインツアーをはじめ、ワーケーション等の普及促進など観光のトレンドの変化に対応した取組を進めています。

さらに、デジタル技術の積極的な活用により、宿泊業における生産性の向上、安全・安心な旅行環境の整備、観光体験・観光地経営の高度化等を図るものとしています。

なお、平成29年(2017年)3月28日に閣議決定した「観光立国推進基本計画」は、令和3年(2021年)度中に改定を行う予定でしたが、コロナ禍の影響から、計画の中核を成すインバウンドの動向を中長期的に見通すことが厳しい状況だとして、感染状況が落ち着き、議論できるような状況の下で具体的な検討を進めていきたいと策定が延期されました。

表 4 明日の日本を支える観光ビジョンの5つの目標

5つの目標と目標年次	令和2年度(2020年)	令和12年度(2030年)
訪日外国人旅行者数	4,000万人	6,000万人
訪日外国人旅行消費額	8兆円	15兆円
地方部での外国人延べ宿泊者数	7,000万人泊	1億3,000万人泊
外国人リピーター数	2,400万人	3,600万人
日本人国内旅行消費額	21兆円	22兆円

(2)ふくい観光ビジョン

①策定の趣旨

人口減少や少子高齢化など社会構造の変化が急速に進み、福井県においても地域経済の縮小や地域間格差の拡大等が懸念されています。

こうした中で、観光の振興は、経済効果や雇用効果、地域への愛着や誇りの醸成など様々な効果をもたらす、SDGsの達成に向け観光への期待が高まっています。

また、福井県においては、北陸新幹線福井・敦賀開業や中部縦貫自動車道県内区間開通など高速交通網の整備進展のほか、大阪・関西万博等の大規模な国際イベントの開催など誘客拡大の好機が到来します。

この機を最大限に活かし、観光振興の機運を盛り上げ、行政や団体、観光関係事業者のみならず、県民一人ひとりが自らの果たすべき役割等に対する理解を深め、共通認識のもと県民一丸となって取り組んでいく指針としています。

②計画期間

令和2年度(2020年度)～6年度(2024年度)(5年間)

③基本理念

北陸新幹線福井・敦賀開業等を契機に、「地方創生の切り札」とされる観光に地域一体となって取り組み、観光客目線の情報発信等を集中的に行うことで、多方面から注目が集まるふくいブームを創出します。観光を通じて交流人口拡大を図り、SDGsの理念に沿って地域の持続可能性を高めるとともに、新たな価値を定着させ、ブームを一過性で終わらせないムーブメント、さらには文化へと高めていきます。

観光でこころひとつに、活力ある地域の創造
～ふくいブームの創出からムーブメント、文化へ～

④目標設定

		現状値 平成30年(2018年)	目標値 令和6年(2024年)
定量目標	観光消費額【福井県観光統計】	1,313億円	1,700億円
	観光客入込数【福井県観光統計】	1,697万人	2,000万人
	延べ宿泊者数 【宿泊旅行統計調査(観光庁)】	406万人	510万人
	外国人延べ宿泊者数 【宿泊旅行統計調査(観光庁)】	7.6万人	40万人
	来訪者満足度 【福井県アンケート調査】	46%	60%
定性目標	観光関連サイトへの事業者の登録・県民の投稿件数を増やす		

⑤戦略の体系

戦略	内容	施策
観光で「稼ぐ」	価値ある食を提供するなど、観光客に気持ちよい消費を促すことが、地域経済の活性化ひいては住民の生活の豊かさの向上へとつながります。そのためにも、観光地域づくり法人を中心に観光のプレーヤーを発掘・育成し、ターゲットに合わせ、観光資源を磨き上げ、新たなコンテンツを造成するなど、地域一体となって観光客の心をつかむ魅力づくりを進めます。	<p><観光客の心をつかむ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界に通用する食・食文化を ・選ばれる観光地へ ・魅力あふれる嶺南地域へ ・スポーツ・文化を観光の目的に ・ワクワクつづく滞在に ・「ここにしかない」MICE・教育旅行を <p><観光地域づくりをすすめる></p> <ul style="list-style-type: none"> ・頑張る事業者に活力を ・みんなで観光のイノベーションを
観光で「ブームを起こす」	北陸新幹線福井・敦賀開業など今後迎える誘客拡大の好機を最大限活かし、ブームを創出します。また、ブームを一過性で終わらせないよう、個々の資源のストーリーの発掘・発信を通じて魅力を高め、ムーブメントにつなげます。さらには、これらを誰もが認める「ふくいブランド」として確立し、文化へと高めていきます。	<p><ブランド力を高める></p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の資源に価値を高めるストーリーを <p><心惹かれる情報を届ける></p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつでもどこでも「今」の情報を ・欲しい人に欲しい情報を
観光で「世界を魅了する」	<p>交流人口の拡大には、近年増加している訪日外国人観光客の需要の取り込みが重要です。</p> <p>関西・京都、北陸など、外国人観光客の多い周辺地域からの誘客も重視しながら、国・地域のニーズに応じた情報発信やコンテンツの充実、インバウンド目線の受入環境整備など、外国人の心に訴える「攻め」のインバウンド施策を展開します。</p>	<p><インバウンド目線で攻める></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人に刺さる情報・体験を ・世界基準のおもてなしを
観光で「心を満たす」	安全・安心で快適な旅行環境や感動するおもてなし体験の提供などは、観光客の満足度を高めます。観光地までの二次交通の充実や、SDGsの理念に沿った住民の暮らし・豊かさの維持向上につながる持続可能な施策の展開など、すべての人にやさしい環境を整え、地域社会と観光との共生を図ります。	<p><すべての人にやさしい環境を整える></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「また来たい」福井へ ・暮らしの中に観光を

2-5 敦賀観光関連プロジェクト

(1) 敦賀駅の周辺整備

敦賀駅において乗換を行い、北陸と関西、中京間を行き来する旅行客やビジネス客は年間700万人を超えると試算されています。

この効果を嶺南全体の観光や産業の活性化につなげるため、交流施設「オルパーク」や敦賀駅前広場に続き、新幹線駅前広場やアクセス道路の整備を進め、新幹線・JR・並行在来線のターミナル駅となる敦賀駅の交通ハブ機能を強化します。

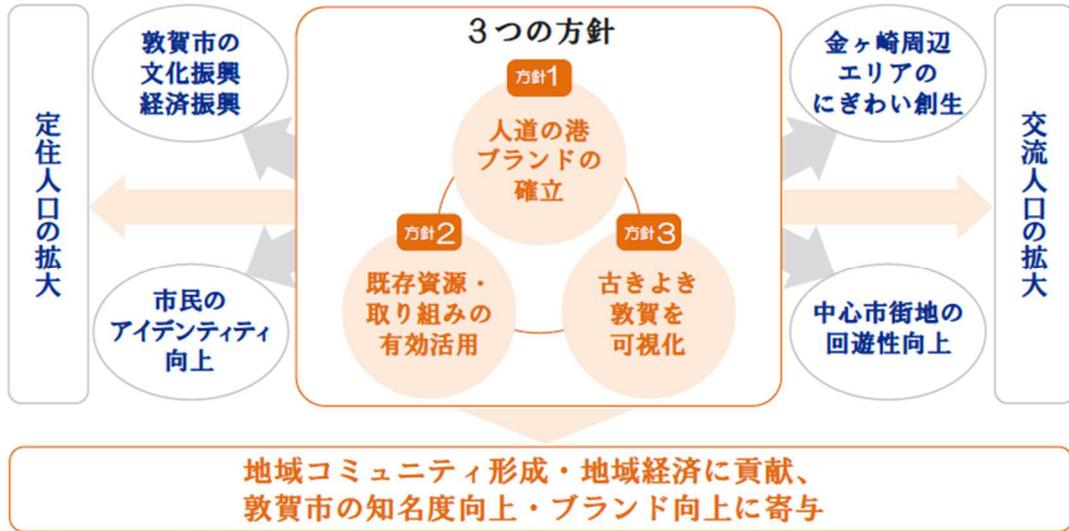
また、敦賀駅で下車した観光客や市民が、氣比神宮や門前となる商店街などから金ヶ崎周辺までを周遊したくなるような街並み・道路整備や賑わいづくりを進めます。



図 11 敦賀駅周辺事業

(2)金ヶ崎周辺の整備

金ヶ崎周辺地区は、海路と陸路の中継地点、東洋の波止場と呼ばれ、現存する豊富な歴史的建造物が往時の「港まち敦賀」を今に伝えています。これらの資源を活かしながら、多くの市民や観光客が足を運ぶ居心地の良い空間として整備を進めています。人道の港 敦賀ムゼウムの移転・拡充や「キハ28形」気動車の設置に続き、民間活力の導入による飲食・物販機能の創出を促進します。



資料: 金ヶ崎周辺施設整備基本計画

図 12 整備イメージ

(3)文化財の保存及び活用

敦賀の文化・芸術の振興に向けては、氣比神宮(名勝「けいの明神」保存整備等)や西福寺(御影堂の改修等)、柴田氏庭園等の既存の文化財の保全や活用を図ります。また、史跡金ヶ崎城跡や史跡武田耕雲斎等墓などといった、これまでに十分な保全や活用が図られていなかった地域資源を掘り起こし、文化交流拠点・観光地としての磨き上げを促進します。

3. 敦賀市観光振興計画(平成25年度策定)の進捗状況

平成25年度に策定した「敦賀市観光振興計画」の進捗状況及び今後の重要施策について整理します。

(1) KGI(重要成果指標)の達成状況

北陸新幹線敦賀開業に向け、観光拠点整備や観光人材の育成などを中心に事業を展開しています。令和2年から拡大したコロナ禍の影響を受け、観光客入込数は減少しましたが、令和4年より徐々に回復傾向が見られました。

また、観光入込客1人当たり観光消費額は、宿泊観光者数の増加も影響し、順調に増加しており、今後の観光客入込数の回復に伴い、観光施策の効果が発揮されていくものと考えられます。

表 5 KGI(重要成果指標)の達成状況

指 標	基準値 (平成24年)	目標値 (令和4年)	実績値 (令和元年)	実績値 (令和3年)
観光客入込数	190 万人	240 万人	203.3 万人	121.4 万人
うち宿泊観光者数	13.3 万人	21 万人	35.5 万人	20.0 万人
観光消費額	44 億円	66 億円	87.7 億円	50.0 億円
入込客1人当たり消費額	2,316円/人	2,750円/人	4,313円/人	4,119円/人

(2) 基本方針毎の進捗状況

① 基本方針1 多様な観光資源の活用と保全

敦賀ならではの観光資源である人道の港敦賀ムゼウムのリニューアルなど、優しい日本人がいた場所としてのイメージ定着に努めてきました。

また、2つの日本遺産ストーリー「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」と「海を越えた鉄道～世界へつながる 鉄路のキセキ～」が認定を受けたことで、鉄道と港のまちのイメージが定着してきています。

今後、日本遺産を活かした観光コンテンツ作りを造成するなど誘客につなげる施策が必要となっています。

② 基本方針2 ホスピタリティの充実

来訪者の満足度を高めるため、ぐるっと敦賀周遊バスの運行やシェアサイクルの導入など二次交通の充実をはじめ、民宿のリニューアルを支援し宿泊施設の質の向上を図るなど受入環境の整備を進めてきました。

令和6年春の北陸新幹線敦賀開業を控え、周遊観光ルートを造成するとともに、市民のホスピタリティを高めていくことが重要となってきます。

③基本方針3 マーケティング戦略の推進

「敦賀真鯛」、「敦賀ふぐ」、「東浦みかん」などの敦賀らしい特産品の魅力を伝えるとともに、昆布の手すき体験や敦賀真鯛の一本釣り体験など、敦賀の持つ観光素材と体験を掛け合わせたコンテンツを造成するなど、既存の観光資源の磨き上げに取り組みました。

また、敦賀市の観光情報の発信を担う、敦賀観光協会のホームページを刷新するなど、情報発信を推進しました。

今後も敦賀の食の磨き上げや、歴史資源や自然資源の活用など、より一層魅力を高めるとともに、SNSなどの媒体を効果的に活用し情報発信していくことが必要です。

④基本方針4 観光振興の推進体制の強化

官民連携の組織体制として、北陸新幹線敦賀開業に向け令和2年に北陸新幹線敦賀開業まちづくり推進会議が設立されました。開業時の機運を開業後も継続していくため、官民の連携体制をより一層強めていく必要があります。

また、北陸新幹線の終着駅となる敦賀駅を拠点に、敦賀以西の市町や滋賀県北部などと連携し、広域での観光に取り組むことが重要です。

4. 課題の整理

(1) 多様な観光資源の活用と保全

本市には、港町としての歴史を背景としたレトロな建築物や市街地に点在する歴史資源をはじめ、湿原や古道など郊外に広がる貴重な自然資源や歴史資源など、民間施設を含め様々な観光資源に恵まれています。しかし、これらの資源についても誘客や周遊性、経済効果の観点から十分な活用が図られていない現状がみられます。

他の観光地との差別化を図り競争力・魅力を高めていくには、旅行ニーズの変化や国際化など、市場環境の変化に適宜、対応していくことが重要となります。そのため、マーケティングの視点のもと、既存の観光資源のブラッシュアップや活用方策の見直し、新たな観光商品の開発を図っていくことが課題となります。

また、「敦賀真鯛」、「敦賀ふぐ」、「東浦みかん」など、敦賀らしい特産品を観光商品と結び付け、観光消費の拡大につなげられるような仕掛け作りが必要です。

併せて、玄関口となる敦賀駅を中心とした、観光施設への案内や移動のための二次交通の充実を図っていかねばなりません。

(2) 持続可能な観光推進

UNWTO(国連世界観光機関)は、持続可能な観光について「訪問客、業界、環境及び訪問客を受け入れるコミュニティのニーズに対応しつつ、現在及び将来の経済、社会、環境への影響を十分に考慮する観光」と定義しています。

アフターコロナ・ウィズコロナへの対応や地域観光資源、伝統文化の保全が求められている中、単なる観光誘客だけではなく、持続可能な観光地とするためには、市民の観光への理解・参加を促進するとともに、地域の観光の担い手を確保・育成していくことが必要です。また、経済、文化、環境のバランスを取りながら、地域に暮らす住民や環境に配慮した観光を推進していくことも重要となってきます。

(3) 受入体制の充実

来訪者の満足度を高め、再訪や長期滞在につなげるには、来訪者に心から満足してもらえる受け入れ体制が重要となります。特に地域の人々からのもてなしは、観光客の印象に大きな影響を与える要素となります。

しかし、本市は「港」や「エネルギー」を中心に発展してきた経緯があり、市民の観光振興に対する意識が十分でないのが現状となっています。そのため、まずは市民が敦賀の観光に興味を持ち、観光客に敦賀の魅力を伝えられるよう市民のホスピタリティを高めていくことが重要な課題となります。同時に、観光ガイド・ボランティア等の育成をはじめ、宿泊、案内板、交通アクセスなどの環境改善、SNS等を利用した情報提供の充実など観光客の視点に立ち、受け入れ体制を整備していくことが課題となっています。

(4)インバウンド等の誘客推進

インバウンドの回復に向けては、外国人旅行者の需要に応じた観光コンテンツの整備が不可欠であり、外国人旅行者が魅力を感じる付加価値のある体験型商品等の開発が必要です。

また、優しい日本人のストーリーを持つ人道の港とゆかりのあるイスラエルやポーランド、リトアニア、オランダ、ユダヤ系住民の多い北米などからの誘客の促進も図っていかねばなりません。

国内国外問わず、目的やターゲットに応じた多角的な誘客の施策が必要です。

(5)観光都市としてのイメージの定着

本市には、「氣比の松原」をはじめとする自然資源や「氣比神宮」をはじめとする歴史資源など、多くの観光資源があります。

また、敦賀駅の周辺整備事業や金ヶ崎周辺の整備事業が進められ、新たな観光資源やインフラ環境が整いつつあります。

しかし、観光誘客の観点からは、観光客が来訪先として選択するだけのイメージ力、ブランド力などのインパクトに欠けるのが現状です。また、観光資源相互のネットワーク化も不十分であり、観光資源が市街地に集積している利点を活かさない状況となっています。このことは同時に、類似した地域性を有する周辺地域との差別化が図られず、観光都市としてのイメージが定着しない要因ともなっています。

北陸新幹線敦賀開業を令和6年(2024年)春に迎え、令和7年に開催される大阪・関西万博に訪れる人々を招き入れ、本市の知名度を高めていく好機であり、積極的なハード、ソフト両面での対策が必要です。

(6)情報発信・マーケティングの強化

旅先としての“敦賀の魅力”の認知度が不足しており、効果的な情報発信により認知度を向上させるため、観光需要に関する客観的データの収集・分析により観光ニーズを明らかにする必要性があります。そのため、ビッグデータやデジタル技術を活用したマーケティングにより、ターゲットに応じた戦略的な企画立案が課題です。

また、旅行者に必要とされる効果的な情報発信が不十分であり、旅行者が旅行前(旅マエ)に調べる情報から、実際に旅行先を訪れている期間(旅ナカ)のサービス情報(物販店、飲食店、交通機関等)までの提供を強化する必要があります。

(7) 広域連携と観光振興推進体制の充実

近隣自治体や県と連携することで、スケールメリットを活かした観光PRやメニューづくりが期待できる広域連携を推進していくことも重要となっています。相互の交流を強化・深化させて関係人口の拡大や誘客増加を図ることが必要です。

また、観光振興を着実に進めるには市民を含めた推進体制の確立・強化が重要となります。近年、協働のまちづくりが進められる中、本市の観光振興においても観光事業者や観光協会等の観光推進組織、行政のそれぞれが本来担うべき役割を明確化し、相互に連携・協力しながら取組を進めていくことが求められています。そのためには特に、本市における観光事業推進の中心となる(一社)敦賀観光協会の運営体制を強化していくとともに、敦賀の魅力を効果的に発信する人材を育成・登用していくことが必要です。

5. 観光振興計画

5-1 基本方針

(1) 基本理念

本市は、これまで一貫して「鉄道と港のまち」としての歴史性に着目し、観光振興を推進してきました。

令和2年度に策定された「第7次敦賀市総合計画」においては、北陸新幹線敦賀開業に向け、本市の主要産業である商業等の活性化、稼ぐ産業化を推進するとともに、人道の港をはじめとした地域資源を活かした施策を推進しています。観光分野においても、地域と人をつなぎ北陸新幹線敦賀開業の受け皿づくりを進めるとともに、広域的な観光圏の形成に取り組み、これまでも増して陸海交通の要衝としての立地特性を活かした、国内外をつなぐ交流拠点となる将来像を目指します。

(2) 計画の目標

北陸新幹線敦賀開業に向け、観光拠点としての金ヶ崎周辺の整備を推進するとともに、二次交通や新たに整備される新幹線駅東口周辺の基盤整備を活かし、市内周遊に加え、周辺地域との連携による広域観光を展開します。

目標値については、令和6年頃には、コロナ禍前の水準に戻ることを見据え、北陸新幹線敦賀開業の効果を最大限に発揮できるよう、第7次敦賀市総合計画、北陸新幹線敦賀開業に向けた敦賀市行動計画、ふくい観光ビジョン等を勘案し、設定しました。

表 6 KGI(重要成果指標)

KG I	基準値(令和元年)	参考(令和3年)	目標値(令和7年)
観光客入込数	369.4 万人	217.8 万人	419 万人
うち宿泊観光者数	87.8 万人	28.5 万人	101 万人
観光消費額	242.1 億円	94.9 億円	285 億円
入込客1人当たり消費額	6,554 円/人	4,357 円/人	6,800 円/人

(3)基本方針

基本理念を実現するため、「持続可能な観光」の実現を踏まえつつ、「A 多様な観光資源の整備と活用、保全」「B ホスピタリティの充実」「C マーケティング戦略の推進」「D 観光振興の推進体制の強化」の大きく4つの柱を基本に、取組を展開していきます。

表 7 基本計画の体系

課題	基本方針	基本計画
多様な観光資源の活用と保全	A 多様な観光資源の整備と活用、保全	A-1 市街地及び観光拠点の整備 A-2 敦賀らしい特産品・土産品の開発及び販売店舗の拡充 A-3 玄関口である敦賀駅周辺の活用 A-4 来訪者が快適に過ごすための環境整備 A-5 市内を巡る二次交通の整備 A-6 教育旅行・ロケなどの誘致
持続可能な観光推進		
受入体制の充実	B ホスピタリティの充実	B-1 敦賀市民のおもてなし意識向上 B-2 インバウンドへの対応 B-3 様々な魅力的イベントの開催
インバウンド等の誘客推進		
観光都市としてのイメージの定着	C マーケティング戦略の推進	C-1 敦賀の魅力の再発見 C-2 多様なメディアを活用した敦賀情報の発信 C-3 来訪者を受け入れる準備 C-4 デスティネーションキャンペーン、大阪・関西万博を契機としたプロモーションの推進
情報発信・マーケティングの強化		
広域観光と観光振興推進体制の充実	D 観光振興の推進体制の強化	D-1 広域連携の推進 D-2 民間と行政の連携体制強化

5-2 基本方針と施策の推進

基本方針 A 多様な観光資源の整備と活用、保全

「持続可能な観光」の実現に必要なテーマでもある建築文化遺産や生きた伝統文化、さらには伝統的な価値観を守るため、交通の要衝であった敦賀を物語る鉄道と港に関する資源の多い「敦賀港周辺エリア」、商業施設が多い「氣比神宮周辺エリア」、敦賀の玄関口である「敦賀駅周辺エリア」の中心市街地や、名勝・史跡などの観光拠点を中心とした整備を推進します。

また、「敦賀真鯛」や「敦賀ふぐ」などの海の幸、「東浦みかん」などの農産品といった敦賀ならではの特産品を活用し、敦賀を訪れたいと思えるような魅力的な商品づくりを推進します。

ハード面では、北陸新幹線敦賀開業に向け、敦賀市の玄関口となる敦賀駅周辺を中心に、来訪者が敦賀市内を快適に周遊して楽しめるよう、バリアフリー化や二次交通が充実した環境づくりも進めます。

A-1 市街地及び観光拠点の整備

敦賀市民が持ち続けてきた心である“人道”、広域交流遺産である“鉄道”など歴史的資源の保全と市街地整備による新たな本市の顔を観光拠点として磨き上げます。

取組施策	施策内容			実施主体
A-1-1 人道の港敦賀ムゼウムの運営	・ 税関旅具検査所、敦賀港駅、大和田回漕部、ロシア義勇艦隊の4棟の外観を再現した人道の港敦賀ムゼウムの管理運営を行うとともに、企画展などを開催し、人道の港敦賀を広くPRします。			人道の港発信室
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度 事業実施	令和7年度	
A-1-2 民間活力導入による物販・飲食機能の整備	・ 金ヶ崎地区を中心に、氣比神宮等周辺エリアを含むまちづくりの実行プランとなるデザイン計画に基づき、民間資本を活用した賑わい施設(飲食・物販・宿泊等)を整備します。			都市政策課 新幹線誘客課
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度 設計・整備工事	令和7年度	
A-1-3 鉄道遺産の活用	・ 譲渡を受けたトワイライトエクスプレスの部品の活用及びキハ28形気動車の利活用を図ります。			新幹線誘客課
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度 新たな利活用方策の実施	令和7年度	
A-1-4 神楽町1丁目多目的広場の活用	・ 氣比神宮周辺の来場者駐車場として利用するとともに、イベント開催など多目的に活用します。			港都つるが株式会社 商工貿易振興課
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度 他の取組などによる活用	令和7年度	
A-1-5 本町通り(国道8号)道路空間の活用	・ 歩行者利便増進道路に指定された道路空間において、商店街や市民団体による日常的なイベントを実施し、賑わいづくりを推進します。			都市政策課
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度 サンプルイベント実施・空間活用	令和7年度	
A-1-6 名勝柴田氏庭園の活用	・ 国指定名勝「柴田氏庭園」の建物・庭園について、地域文化活動などのために貸室利用を行うことで、柴田氏庭園の利活用を図ります。			文化振興課
事業スケジュール	令和5年度 整備	令和6年度 公開	令和7年度	
A-1-7 史跡武田耕雲斎等墓の整備	・ 国指定史跡「武田耕雲斎等墓」について、水戸烈士記念館(旧鯉蔵)、史跡のガイダンス施設を含めた一体的な整備を行います。			文化振興課
事業スケジュール	令和5年度 整備	令和6年度 公開	令和7年度	

A-1-8 名勝けいの明神の整備	・ 国指定名勝「奥の細道の風景地 けいの明神（氣比神宮境内）」の保存整備を行います。	文化振興課
事業スケジュール	令和5年度 令和6年度 令和7年度 保存活用計画・整備基本計画策定	
A-1-9 史跡金ヶ崎城跡の整備	・ 国指定史跡「金ヶ崎城跡」の保存・整備を行うほか、整備状況を公開するなど、利活用を図ります。	文化振興課
事業スケジュール	令和5年度 令和6年度 令和7年度 委員会開催 整備基本計画策定	
A-1-10 西福寺建物の修復	・ 国指定重要文化財「西福寺御影堂」、「庫裏」、市指定文化財「西福寺境内建物」の修復・整備を行います。	文化振興課
事業スケジュール	令和5年度 令和6年度 令和7年度 実施設計、整備	
A-1-11 名勝気比の松原の魅力向上	・ 松原公園、松原海浜、公衆トイレの環境美化や観光客への観光案内の充実を図ります。	敦賀観光協会 観光交流課
事業スケジュール	令和5年度 令和6年度 令和7年度 環境美化、観光案内の実施	
A-1-12 山車(やま)会館魅力向上	・ 山車や敦賀の祭りの歴史的・文化財的価値を再確認し、その魅力を広くPRし、山車会館の展示内容の更新・充実を図ります。	文化振興課
事業スケジュール	令和5年度 令和6年度 令和7年度 館内改修	
A-1-13 景観形成推進	・ 景観形成推進地区において、地区ごとに定めた独自のガイドラインに基づき景観形成協議会の構成員が所有する建築物などの外観整備を実施し、地区内の景観形成を推進します。	都市政策課
事業スケジュール	令和5年度 令和6年度 令和7年度 景観形成の推進	
A-1-14 日本遺産(鉄道遺産)の活用	・ 旧北陸線トンネル群を活用した市民レベルでの観光連携を図ります。 ・ また、観光コンテンツとしてブラッシュアップし、観光商品を造成するなど利活用を図ります。	NPO法人T HAP 敦賀観光協会
事業スケジュール	令和5年度 令和6年度 令和7年度 事業実施	

A-2 敦賀らしい特産品・土産品の開発及び販売店舗の拡充

本市の地場産品等を活用した「敦賀ブランド」づくりを行い、これに沿った新たな商品やメニューの開発により、話題性の創出と稼げる観光の構築を図ります。

取組施策	施策内容			実施主体
A-2-1 「敦賀ブランド」開発・確立調査研究	<ul style="list-style-type: none"> 「敦賀ブランド開発検討会」を設置し、敦賀観光協会や農業協同組合、漁業協同組合と連携し、「敦賀真鯛」「敦賀ふぐ」をはじめとした食文化や「鉄道と港のまち」をテーマとしたブランドづくりに向けて、地域ぐるみで研究開発を行うことで、ブランド確立を図ります。 			敦賀商工会議所
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	ブランド力向上や創出の環境整備 販路拡大			
A-2-2 特産品・土産品の開発及び販売店舗の拡充	<ul style="list-style-type: none"> 敦賀をPRする新商品やパッケージ開発、北陸新幹線敦賀開業のメッセージ発信を目的とする商品開発を推進します。 また、既存を含めた商品の市内外の販路拡大を推進します。 			商工貿易振興課 観光交流課
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	補助事業実施			
A-2-3 商品開発・販路開拓塾	<ul style="list-style-type: none"> 敦賀の名物づくりに向けてのセミナー、相談会（商品開発・販路開拓塾）を開催し、名物づくりを行い、合わせて効果的な魅力発信を行うための「合同プレス発表会」を開催します。 			敦賀商工会議所
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	セミナー・相談会等の開催、合同プレス発表会の開催			
A-2-4 敦賀ドレッシングの販売展開	<ul style="list-style-type: none"> 伝統野菜「黒河マナ」と敦賀の魚から作った魚醤を使用したドレッシングの改良及び販路拡大を行います。 			敦賀商工会議所
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	販売推進			
A-2-5 東浦みかんのブランド力強化と生産力拡大	<ul style="list-style-type: none"> 苗木の新植や改植、ブランド化に必要なPR用品の作成を行い、収量拡大、品質向上、販売額の増加を図り、農業経営の向上を図ります。 			農林水産振興課
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	新みかん園開園（一部開園） 開園（予定） 苗木新植			
A-2-6 「敦賀真鯛」・「敦賀ふぐ」の養殖を奨励	<ul style="list-style-type: none"> 「敦賀真鯛」PR活動及び「敦賀ふぐ」の種苗購入に係る経費を助成し、漁業経営の安定化と養殖魚の販路拡大を図ります。 			農林水産振興課
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	養殖奨励			
A-2-7 杉箸アカカンバのブランド力強化と生産力拡大	<ul style="list-style-type: none"> 栽培支援、PR用広告などの作成、農作業ボランティアの実施など、伝統野菜「杉箸アカカンバ」の維持発展や知名度向上を推進します。 			農林水産振興課
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	栽培支援、農作業ボランティアの実施			

A-3 玄関口である敦賀駅周辺の活用

北陸新幹線敦賀開業に向け、敦賀市の玄関口である敦賀駅周辺について、市民と来訪者の交流や賑わい創出の場となるよう、積極的に活用します。

取組施策	施策内容			実施主体
A-3-1 駅西地区の交流拠点施設の活用	・ 敦賀駅西地区「otta」や知育・啓発施設「ちえなみき」において、官民連携した市民と来訪者の交流や賑わい創出を図ります。			都市政策課
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度 事業運営	令和7年度	
A-3-2 新幹線駅前広場の整備	・ 新幹線駅前広場（ロータリー、歩道上屋など）と一体的に緑化空間、駐車場、散策路連絡橋などの整備を推進します。			新幹線整備課
事業スケジュール	令和5年度 工事	令和6年度 施設管理	令和7年度	
A-3-3 市民と連携したイベントなどによる賑わいの創出	・ オルパークや駅前広場を活用し、市民や商店街と連携したイベントを実施して賑わい創出を図ります。			観光交流課
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	オルパークや駅前広場を活用したイベントの開催の開催			

A-4 来訪者が快適に過ごすための環境整備

来訪者がストレスなく敦賀市を観光できるよう、案内・誘導看板の整備やバスの利便性向上等の受入環境の整備を推進します。

取組施策	施策内容			実施主体
A-4-1 食・体験・宿泊強化による受入環境整備	・ 令和3年度に開発した新ご当地グルメ「つるが UMAMI グルメ」と「体験観光素材」の内容について、おもてなしパスポートや、じゃらん net に掲載する特集ページを作成し、情報発信による誘客並びに市内店舗を周遊していただくなど、誘客・消費拡大を行います。			敦賀商工会議所 敦賀観光協会 新幹線誘客課
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度 誘客・消費拡大	令和7年度	
A-4-2 案内・誘導サインの整備	・ JR敦賀駅から氣比神宮周辺、金ヶ崎周辺及び舟溜り地区等など中心市街地の主要な観光スポット間に整備されている誘導サインを適切に管理するとともに、新幹線開業に合わせた案内・誘導サインの整備・更新を行います。			観光交流課
事業スケジュール	令和5年度 システム構築・導入	令和6年度	令和7年度	
		運用開始		

A-4-3 まちなかのユニバーサルデザイン導入	・ 障がい者や外国人旅行者、高齢者など、だれもが訪れて安心できる環境整備(案内表示、多目的トイレ、駐車スペース等)を推進します。	観光交流課		
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
各施設管理者によるバリアフリーや障害者対応、案内表示の外国語対応等の実施				
A-4-4 防災ラジオ付き自動販売機の普及	・ 敦賀 FM 放送(株)、北陸コカ・コーラボトリング(株)の協力により、防災ラジオ付き自動販売機を市内に設置します。	危機管理対策課		
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
普及啓発、導入				

A-5 市内を巡る二次交通の整備

敦賀市の玄関口となるJR敦賀駅から観光資源が集まる金ヶ崎周辺等への観光二次交通の利便性向上を図ります。

取組施策	施策内容			実施主体
A-5-1 シェアサイクル拠点の整備	・ JR敦賀駅など中心市街地を中心に11箇所整備したシェアサイクル拠点について、新幹線開業に向けた更なる利用促進を図るとともに、ポートの拡充整備を行います。			観光交流課
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
事業運営・拠点拡充				
A-5-2 ぐるっと敦賀周遊バスの運行	・ JR敦賀駅を起点として、主要観光スポットや商業施設を巡る「ぐるっと敦賀周遊バス」について、新幹線開業に向けたダイヤ改正を行い、来訪者の利便性向上を図ります。			観光交流課
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
運行(H29.10 ルート改編) 利便性向上策の検討、実施				
A-5-3 コミュニティバスの運行、利便性向上	・ 停留所名などを入れると最適なダイヤを表示する乗換検索システム、バスの位置情報や運行状況などがリアルタイムで分かるバスロケーションシステムを導入したコミュニティバスを運行し、市民や来訪者が気軽に乗れるバス環境を構築し、利用者増加を図ります。			生活安全課
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
システム導入(長期契約)				
A-5-4 バス利用者の利便性向上	・ 市内を運行するバスに交通系 IC カードシステムを導入し、バス利用者の利便性を図ります。			生活安全課 観光交流課
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
システム構築・導入 運用開始				

A-6 教育旅行・ロケなどの誘致

教育旅行や映画などのロケーションの誘致により、新規旅行者を獲得していくとともに、敦賀市ならではのコンテンツの提供等により、リピーター増加を目指します。

取組施策	施策内容			実施主体
A-6-1 教育旅行・学生合宿の誘致	・ 福井県外に所在する高等学校、高等専門学校、短期大学、大学の生徒又は学生で構成され、敦賀市内で宿泊合宿を行う部活動、サークル活動、ゼミ活動などに対し、宿泊経費を一部補助します。			観光交流課
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	教育旅行・学生合宿の誘致			
A-6-2 修学旅行などでの民泊の促進	・ 新幹線開業により、首都圏をはじめとする北陸新幹線沿線地域からの修学旅行の増加による民泊需要の増加が見込まれるため、美浜町、若狭町との連携の下、受入拡充を図ります。			観光交流課
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	教育旅行・学生合宿の誘致			
A-6-3 フィルムコミッションの推進	・ ドラマ、CM、映画などの撮影の問い合わせがあった際に、ロケ地などの紹介、関係機関との調整、エキストラの確保といった撮影のサポートを通じて、受け入れを推進します。			観光交流課
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	フィルムコミッションの推進			

基本方針 B ホスピタリティの充実

来訪者に敦賀の魅力を伝えるためには、市民一人ひとりが敦賀の魅力を再認識し、誇りをもって紹介できることが大切です。ボランティアガイドの方をはじめ、民間企業、NPO、大学生等の若者など多様な立場の市民が、スキルと心(=おもてなし意識)を磨くことで、来訪者の受入体制づくりを推進します。

また、新型コロナウイルス等の感染症対策を十分に行い、観光客が安心して来訪できる環境づくりを進めます。

B-1 敦賀市民のおもてなし意識向上

市民一人一人がおもてなし意識を持ち、来訪者に敦賀の魅力を伝えられるよう、観光ボランティアガイドの育成や市民等のおもてなし意識向上に資する取組を進め、観光客の満足度向上を図ります。

取組施策	施策内容			実施主体
B-1-1 観光事業者などへのおもてなし力向上に向けたセミナーや研修会の開催	・ 市内事業者のおもてなし力向上のためのセミナーを開催し、「おもてなし力」「サービス力」の向上を図ります。			敦賀商工会議所
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	セミナー(ワークショップ)の開催(市民、観光ボランティア向け)			

B-1-2 敦賀おもてなし事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来訪者に「もう一度訪れたいまち」と思ってもらうために、市民活動団体、商店街、敦賀商工会議所などが連携し、おもてなし隊の人材育成の推進や新たなおもてなし事業を構築します。 ・ また、新幹線開業に向けた取組として、開業関連イベントの会場におもてなし受付センターを開設し、市民から参加者を募集します。 	NPO法人T HAP									
事業スケジュール	<table border="1"> <tr> <td>令和5年度</td> <td>令和6年度</td> <td>令和7年度</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">新たなおもてなし事業の展開</td> </tr> </table>	令和5年度	令和6年度	令和7年度	新たなおもてなし事業の展開						
令和5年度	令和6年度	令和7年度									
新たなおもてなし事業の展開											
B-1-3 観光ボランティアガイドの活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前にガイドを希望したお客様に対し、市内の観光地を案内し、敦賀の魅力を伝えます。 ・ また、歴史や文化など多様な視点から敦賀の魅力を説明できるよう勉強会・研修会を開催し、ガイドスキルを高めるとともに、広報紙などを通じて会員の拡大を図ります。 	観光ボラン ティアガイド つるが									
事業スケジュール	<table border="1"> <tr> <td>令和5年度</td> <td>令和6年度</td> <td>令和7年度</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">事業実施</td> <td></td> </tr> </table>	令和5年度	令和6年度	令和7年度	事業実施						
令和5年度	令和6年度	令和7年度									
事業実施											
B-1-4 敦賀の観光に関する講座の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語学講座に「敦賀の観光」をテーマにした回を設け、市民への啓発を図ります。 ・ また、「ふるさとの魅力発見－日本遺産(鉄道遺産ストーリー)の魅力－」をテーマとした現地学習を開催し、日本遺産に認定された鉄道遺産の魅力について知ってもらうことにより、おもてなし力の向上を図ります。 	生涯学習課									
事業スケジュール	<table border="1"> <tr> <td>令和5年度</td> <td>令和6年度</td> <td>令和7年度</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">講座の開催、観光つるが検定チラシ配布</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">講座の企画・開催</td> <td></td> </tr> </table>	令和5年度	令和6年度	令和7年度	講座の開催、観光つるが検定チラシ配布			講座の企画・開催			
令和5年度	令和6年度	令和7年度									
講座の開催、観光つるが検定チラシ配布											
講座の企画・開催											
B-1-5 観光つるが検定の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民に敦賀市内の観光に関する知識の習得を促し、観光ガイドの育成につなげるため、初級・中級・上級の検定を実施し、敦賀博士の育成を図ります。 	敦賀観光協 会 観光交流課									
事業スケジュール	<table border="1"> <tr> <td>令和5年度</td> <td>令和6年度</td> <td>令和7年度</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">検定の実施</td> <td></td> </tr> </table>	令和5年度	令和6年度	令和7年度	検定の実施						
令和5年度	令和6年度	令和7年度									
検定の実施											
B-1-6 北陸新幹線敦賀開業歓迎の花運動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来訪者をおもてなしの気持ちで歓迎するため、公共施設や企業等と連携し、歓迎の花運動を展開します。 	敦賀市民憲 章推進会議 「小さな親 切」運動敦 賀支部 生涯学習課									
事業スケジュール	<table border="1"> <tr> <td>令和5年度</td> <td>令和6年度</td> <td>令和7年度</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">花のプランターの設置</td> <td></td> </tr> </table>	令和5年度	令和6年度	令和7年度	花のプランターの設置						
令和5年度	令和6年度	令和7年度									
花のプランターの設置											
B-1-7 おもてなし隊の活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北陸新幹線敦賀開業に向けて、来訪者をきれいな町並みでお迎えできるよう、市民や企業と協働し、定期的な清掃活動に取り組みます。 ・ また、氣比神宮前での写真撮影のお手伝いや地元目線で飲食店や観光スポットをお勧めするなど観光客とのコミュニケーションを通じて、敦賀に親しみを持ってもらい、リピーター増加を図ります。 	NPO法人T HAP									
事業スケジュール	<table border="1"> <tr> <td>令和5年度</td> <td>令和6年度</td> <td>令和7年度</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">事業実施</td> <td></td> </tr> </table>	令和5年度	令和6年度	令和7年度	事業実施						
令和5年度	令和6年度	令和7年度									
事業実施											

B-2 インバウンドへの対応

訪日外国人観光客の受け入れ体制の充実に向け、観光情報の多言語発信や外国人観光客を受け入れることに積極的な観光連携事業者を育成するなどし、誘客を促進します。

取組施策	施策内容			実施主体
B-2-1 人道の港とゆかりのある国を対象としたプロモーション	・ 人道の港とゆかりのあるイスラエルやポーランド、リトアニア、オランダ、ユダヤ系住民の多い北米などからの来訪者をターゲットにPRを行い、誘客を推進します。			人道の港発信室
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度 プロモーションの実施	令和7年度	→
B-2-2 キャッシュレス端末導入推進	・ 県外客やインバウンドの高まりにより、よりニーズが増えるキャッシュレス決済の端末導入を支援し、商機の拡大を図ります。			商工貿易振興課
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度 補助事業実施	令和7年度	→
B-2-3 観光パンフレットの多言語化	・ 外国人観光客が市内の観光地を周遊しやすいよう、多言語総合パンフレットを作成します。(英語、韓国語、繁体字、簡体字等)			観光交流課
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度 事業実施	令和7年度	→
B-2-4 インバウンド対策セミナーの開催	・ 外国人旅行者のおもてなしに関するセミナーを実施し、おもてなし力向上を図ります。			敦賀商工会議所
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度 事業実施・翻訳機の運用、貸出し	令和7年度	→
B-2-5 指差し会話シートの作成・配布	・ 市内事業者向けに、インバウンド用の指差し会話シートを作成・配布し、インバウンド受入環境整備を推進します。			敦賀商工会議所
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度 会話シートの配布	令和7年度	→
B-2-6 観光案内英会話への対応	・ インバウンドの受け入れや外国人のおもてなし時に役立つ簡単な英会話ハンドブックを作成します。			敦賀観光協会 観光ボランティアガイド つるが
事業スケジュール	令和5年度 概要の作成及び校正	令和6年度 配布	令和7年度	→
B-2-7 クルーズ客船寄港の積極的誘致	・ クルーズ客船の誘致活動及び寄港時の歓迎イベントを行い、敦賀港の賑わいを創出します。			観光交流課
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度 事業実施	令和7年度	→

B-2-8 おもてなし隊の活動時における英語案内の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 氣比神宮前での活動時に日本語の案内板に加え、英語表記の案内板を作成します。 ・ 特に海外クルーズ船の寄港時に英語での案内を推進します。 	NPO法人T HAP	
事業スケジュール	令和5年度 案内板作成	令和6年度	令和7年度
	事業実施		

B-3 様々な魅力あるイベントの開催

敦賀市の中心市街地において市民や来訪者など誰もが楽しめるイベントの開催、イベント開催支援などを行います。

取組施策	施策内容	実施主体
B-3-1 中心市街地における地域活性化イベントなどの開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ 敦賀駅周辺での「つるが鉄道フェスティバル」の開催をはじめ、「敦賀港イルミネーション『ミライエ』」などの金ヶ崎周辺地区の活性化イベントや、「晴れの(日)」、「氣比神宮の杜フェスタ」、「つるが旨いもんなんでもマルシェ」など商店街の賑わい創出を目的としたイベントなどを開催し、地域活性化を図ります。 ・ 参加店の店主やスタッフが講師となり、そのお店ならではの専門的な知識やコツ・裏技などを教えてくれるワークショップ型のゼミ「まちゼミ」を開催します。 ・ また、敦賀市公認キャラクター「ツヌガ君」や「よっしー」などを用いてイベントの賑わいを創出します。 	「敦賀・鉄道と港」まちづくり実行委員会 敦賀青年会議所 敦賀商工会議所 敦賀市商店街連合会 NPO 法人 THAP 観光交流課 新幹線誘客課 商工貿易振興課
事業スケジュール	令和5年度 令和6年度 令和7年度	地域活性化イベント等の開催
B-3-2 中心市街地賑わい街づくり支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民団体や商店街等が中心市街地において実施する賑わいづくりのための事業を支援します。 	港都つるが株式会社 商工貿易振興課
事業スケジュール	令和5年度 令和6年度 令和7年度	支援実施
B-3-3 友好市町と連携した賑わい創出イベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ 敦賀市の歴史遺産を PR するとともに友好市町と連携した賑わい創出イベントの開催を推進します。 	観光交流課
事業スケジュール	令和5年度 令和6年度 令和7年度	賑わい創出イベントの開催
B-3-4 国際交流イベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人道の港との縁のあるイスラエル、オランダ、ポーランド、リトアニアの4カ国との交流を目的としたイベント開催を推進します。 	敦賀国際文化交流フェスティバル実行委員会 新幹線誘客課
事業スケジュール	令和5年度 令和6年度 令和7年度	国際交流イベントの開催

B-3-5 中心市街地における子どもイベントの開催	・ 青少年健全育成を目的とした「親子のフェスティバル」を金ヶ崎周辺地区で開催し、他のイベントと連携するなどして地域全体の活性化を図ります。	青少年健全育成敦賀市民会議 NPO法人THAP	
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度 事業実施	令和7年度
B-3-6 安心して来訪できる感染症対策の実施	・ 大きな健康被害と社会的影響をもたらす感染症から市民、来訪者の生命及び健康を守るため、敦賀市新型インフルエンザ等対策行動計画を必要に応じ更新するなど、安心・安全な環境の維持に努めます。	健康推進課	
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度 随時更新	令和7年度

*まちゼミ:敦賀市中心部の商店街の店主らが、市民に専門知識や技術を伝授するイベント

基本方針 C マーケティング戦略の推進

敦賀駅が北陸新幹線の当面の始発駅・終着駅となることで、多くの人が「敦賀」の名称を目にすることになり、敦賀を知ってもらう最大の好機となります。

そのため、敦賀市民の視点、来訪者の視点から敦賀の魅力を分析しマーケティング戦略を立て、敦賀を訪れてもらうためのプロモーション活動を行います。

C-1 敦賀の魅力を再発見

市民や子どもたちが市内の観光資源に接する機会を多く持ち、敦賀の魅力を深く知ってもらうことにより、市外の方にもその魅力を伝えることができるように観光への意識の向上を図ります。

取組施策	施策内容	実施主体	
C-1-1 新幹線誘客キャッチコピー「つるが、発見！」の活用	・ キャッチコピーのロゴマークを公募し、それに参加することで市民一人一人が魅力を再認識することを促し、決定したロゴマークをノベルティグッズに使用することで、市外の方にも敦賀の魅力を発見してもらうよう活用します。	新幹線誘客課	
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度 事業実施	令和7年度
C-1-2 広報つるがへの新幹線関連事業特集記事掲載	・ 市や民間、市民団体などが取り組む新幹線関連事業などの特集記事を定期的に広報つるがに掲載することで、北陸新幹線敦賀開業を市民に広くPRし機運の醸成を図ります。	秘書広報課	
事業スケジュール	令和5年度 ・新幹線工事の状況 ・各種開業前イベントの状況	令和6年度 新幹線開業後の各種イベント等の状況	令和7年度

C-1-3 観光ボランティアガイド 派遣による講座開催	・ 学校や企業などにボランティアガイドを派遣し、敦賀のまちについての講座を開催することで、おもてなし意識の向上を図ります。	観光ボラン ティアガイド つるが
事業スケジュール	令和5年度 令和6年度 講座開催	令和7年度 →
C-1-4 児童生徒へのふるさと学 習の推進	・ 敦賀の自然に触れる体験や歴史・文化施設の見学などを通じて、ふるさとへの理解と愛着を高め、今後のまちづくりなどへの参画意識の向上を図ります。	学校教育課
事業スケジュール	令和5年度 出前授業、現地見学、PR 活動、ふるさとマップ配布、マップを生かした学習、副読本改訂版3の使用	令和6年度 副読本内容改訂4 →
C-1-5 修学旅行での敦賀 PR	・ 市内小・中学生が修学旅行や遠足の訪問先において観光 PR を行うため、内容や方法の事前研修を行います。	観光交流課
事業スケジュール	令和5年度 令和6年度 事業実施	令和7年度 →
C-1-6 北陸新幹線敦賀開業み んなで応援プロジェクト	・ 北陸新幹線敦賀開業への期待や歓迎の思いを市民自らが発信する機会と仕組みを作り、市民が主役の映像を制作することで機運醸成を図るとともに、それを素材として市民の熱意を広報展開します。	新幹線誘客 課
事業スケジュール	令和5年度 令和6年度 事業実施	令和7年度 →
C-1-7 おもてなし隊の活動を通 じた敦賀の観光資源の 再認識	・ おもてなし隊の活動を通じて、敦賀の観光資源を再認識するとともに、高校生が大人と連携し、活動することにより、新しい発見につなげます。	NPO法人T HAP
事業スケジュール	令和5年度 令和6年度 事業実施	令和7年度 →

C-2 多様なメディアを活用した敦賀情報の発信

敦賀市の魅力を知ってもらうためのプロモーション、イベント開催、商談会への参加や多言語の観光パンフレット、ホームページ、デジタルサイネージを活用した情報発信のほか、Facebook、Twitter、Instagram、TikTok などの SNS による情報発信に取り組みます。

取組施策	施策内容	実施主体
C-2-1 プロモーション計画の実施	・ 敦賀市外への情報発信を戦略的に進めていくために、プロモーション計画に沿ったプロモーションを実行します。	新幹線敦賀 開業まちづ くり推進会 議 新幹線誘客 課
事業スケジュール	令和5年度 令和6年度 プロモーション活動(広告付き年賀状など)	令和7年度 →

C-2-2 新幹線開業に向けたイベントの開催や情報発信の強化	<ul style="list-style-type: none"> 新幹線開業時に合わせたイベント及びプレイベントを開催し賑わいの創出や市民意識の醸成を図ります。 デスティネーションキャンペーンなどの大型キャンペーンに向けたプロモーションを実施します。 	新幹線敦賀開業まちづくり推進会議 新幹線誘客課												
事業スケジュール	<table border="1"> <tr> <td>令和5年度</td> <td>令和6年度</td> <td>令和7年度</td> </tr> <tr> <td>開業イベントの開催</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">→</td> </tr> <tr> <td></td> <td>大型キャンペーン対応</td> <td></td> </tr> </table>	令和5年度	令和6年度	令和7年度	開業イベントの開催			→				大型キャンペーン対応		
令和5年度	令和6年度	令和7年度												
開業イベントの開催														
→														
	大型キャンペーン対応													
C-2-3 商談会への参加	<ul style="list-style-type: none"> 北陸新幹線の延伸によりアクセス性の高まる北陸や首都圏での商談会に出展し、販路開拓を行うことで、認知度向上を図ります。 	敦賀商工会議所												
事業スケジュール	<table border="1"> <tr> <td>令和5年度</td> <td>令和6年度</td> <td>令和7年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事業実施</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">→</td> </tr> </table>	令和5年度	令和6年度	令和7年度		事業実施		→						
令和5年度	令和6年度	令和7年度												
	事業実施													
→														
C-2-4 敦賀観光協会による旅行会社などへの情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 敦賀にリピーターとして来ていただけるよう地域ネタをコーディネートし、旅行会社や代理店に観光情報、企画の提供及び訪問営業を行い、認知度向上を図ります。 	敦賀観光協会												
事業スケジュール	<table border="1"> <tr> <td>令和5年度</td> <td>令和6年度</td> <td>令和7年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事業実施</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">→</td> </tr> </table>	令和5年度	令和6年度	令和7年度		事業実施		→						
令和5年度	令和6年度	令和7年度												
	事業実施													
→														
C-2-5 観光出向宣伝及び物産展などへの参加による情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 関西・中京地域や、北関東を中心とした首都圏をはじめとする北陸新幹線沿線地域(長野、富山、金沢など)での観光出向宣伝や物産展などのイベント参加により、敦賀の観光資源や食、土産物などのPRを実施し、認知度向上を図ります。 また、嶺南地域の市町と連携して新幹線開業に向けたPRを推進します。 	敦賀観光協会 敦賀商工会議所 観光交流課												
事業スケジュール	<table border="1"> <tr> <td>令和5年度</td> <td>令和6年度</td> <td>令和7年度</td> </tr> <tr> <td colspan="3">民間事業者と連携し、観光出向宣伝及び物産展等への参加による各地でのPRを実施、嶺南地域の市町と連携したPRを実施</td> </tr> <tr> <td colspan="3">→</td> </tr> </table>	令和5年度	令和6年度	令和7年度	民間事業者と連携し、観光出向宣伝及び物産展等への参加による各地でのPRを実施、嶺南地域の市町と連携したPRを実施			→						
令和5年度	令和6年度	令和7年度												
民間事業者と連携し、観光出向宣伝及び物産展等への参加による各地でのPRを実施、嶺南地域の市町と連携したPRを実施														
→														
C-2-6 新聞や雑誌、SNS など多様な媒体を活用した観光情報などの発信	<ul style="list-style-type: none"> 新聞や雑誌、テレビ、ラジオ、高速バス背面などへの広告掲載を通じ敦賀市を広くPRし、観光客の増加を図ります。 また、ホームページやSNSの即時性の高い媒体の活用により旬の観光情報の発信を行います。 	敦賀観光協会 観光交流課												
事業スケジュール	<table border="1"> <tr> <td>令和5年度</td> <td>令和6年度</td> <td>令和7年度</td> </tr> <tr> <td colspan="3">ホームページ、SNSの活用による旬の観光情報の発信 新聞、雑誌、テレビ、ラジオ等による宣伝広告掲載</td> </tr> <tr> <td colspan="3">→</td> </tr> </table>	令和5年度	令和6年度	令和7年度	ホームページ、SNSの活用による旬の観光情報の発信 新聞、雑誌、テレビ、ラジオ等による宣伝広告掲載			→						
令和5年度	令和6年度	令和7年度												
ホームページ、SNSの活用による旬の観光情報の発信 新聞、雑誌、テレビ、ラジオ等による宣伝広告掲載														
→														
C-2-7 SNSを活用したキャンペーン活動(#つるがキャンペーン)	<ul style="list-style-type: none"> SNSを活用したキャンペーンを実施し、敦賀市の認知度向上による観光誘客の促進及び市内経済の活性化を図ります。 	新幹線誘客課												
事業スケジュール	<table border="1"> <tr> <td>令和5年度</td> <td>令和6年度</td> <td>令和7年度</td> </tr> <tr> <td colspan="3">企画立案・拡充の検討・実施</td> </tr> <tr> <td colspan="3">→</td> </tr> </table>	令和5年度	令和6年度	令和7年度	企画立案・拡充の検討・実施			→						
令和5年度	令和6年度	令和7年度												
企画立案・拡充の検討・実施														
→														

C-2-8 つるがの食・味情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信力のある料理人等に敦賀へ来てもらい、敦賀の名産品を使った料理や飲食店等訪問の様子を SNS で発信してもらい敦賀の食に関する魅力を広く PR します。 	観光交流課						
事業スケジュール	<table border="1"> <tr> <td>令和5年度</td> <td>令和6年度</td> <td>令和7年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>PRの実施</td> <td></td> </tr> </table>	令和5年度	令和6年度	令和7年度		PRの実施		
令和5年度	令和6年度	令和7年度						
	PRの実施							
C-2-9 敦賀ネットモール利活用の推進	<ul style="list-style-type: none"> 市内商業店舗の情報発信の強化に取り組むため、市内高校生などの協力のもと、手軽にアクセスできる情報発信サイトを運営します。 	ふるさと創生課						
事業スケジュール	<table border="1"> <tr> <td>令和5年度</td> <td>令和6年度</td> <td>令和7年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>PRの実施</td> <td></td> </tr> </table>	令和5年度	令和6年度	令和7年度		PRの実施		
令和5年度	令和6年度	令和7年度						
	PRの実施							
C-2-10 敦賀開催イベントへのPRブース出展	<ul style="list-style-type: none"> 市内で開催する、県外参加者が多数見込まれるイベントやスポーツ大会等に、キッチンカーなどによる飲食を含めた敦賀開業 PR ブースを出展し、県外からの大会参加者等に認知度本市の認知度向上を図ります。 	新幹線誘客課						
事業スケジュール	<table border="1"> <tr> <td>令和5年度</td> <td>令和6年度</td> <td>令和7年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>PRの実施</td> <td></td> </tr> </table>	令和5年度	令和6年度	令和7年度		PRの実施		
令和5年度	令和6年度	令和7年度						
	PRの実施							
C-2-11 首都圏等対象プロモーション事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> 首都圏の民間団体等との交流事業の実施や、首都圏の地元新聞や SNS への広告展開等を図り、本市の認知度を向上させます。 また、関西、中京地方からの新幹線開業前後の誘客を促進するため、出向宣伝などの PR を実施します。 	新幹線誘客課 観光交流課						
事業スケジュール	<table border="1"> <tr> <td>令和5年度</td> <td>令和6年度</td> <td>令和7年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事業実施</td> <td></td> </tr> </table>	令和5年度	令和6年度	令和7年度		事業実施		
令和5年度	令和6年度	令和7年度						
	事業実施							
C-2-12 市内イベント・グルメ等の情報集約サイト「クチコミつるが」による情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 市内で開催されている各イベント情報や、SNS で投稿されたグルメ・イベント等に関する「クチコミ情報」を閲覧することができる情報発信サイトを運営します。 	敦賀商工会議所 新幹線誘客課						
事業スケジュール	<table border="1"> <tr> <td>令和5年度</td> <td>令和6年度</td> <td>令和7年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事業実施</td> <td></td> </tr> </table>	令和5年度	令和6年度	令和7年度		事業実施		
令和5年度	令和6年度	令和7年度						
	事業実施							
C-2-13 市勢要覧の作成	<ul style="list-style-type: none"> 市の取組などを紹介する冊子を作成し、各種シティセールスや視察等来敦者への広報ツールとして活用し PR を推進します。 また、観光パンフレットと連携し記載内容の役割分担を行います。 	秘書広報課						
事業スケジュール	<table border="1"> <tr> <td>令和5年度</td> <td>令和6年度</td> <td>令和7年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>毎年更新を基本とし、その年のトピックスを掲載</td> <td></td> </tr> </table>	令和5年度	令和6年度	令和7年度		毎年更新を基本とし、その年のトピックスを掲載		
令和5年度	令和6年度	令和7年度						
	毎年更新を基本とし、その年のトピックスを掲載							

C-3 来訪者を受け入れる準備

敦賀市に来て初めて知ることができる穴場観光、体験型ツアー、食事処ガイドマップなどを充実するとともに、ホテル・旅館の受け入れ環境を整備し、快適に敦賀を楽しめる環境づくりを行います。

取組施策	施策内容			実施主体
C-3-1 着地型観光プログラムの開発及び敦賀オリジナルの観光商品の販売	・ 市民発案による着地型観光プログラムを開発し、敦賀オリジナルの観光商品として販売することで、誘客推進を図ります。			敦賀観光協会 新幹線誘客課 観光交流課
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	観光商品として販売、体験観光支援			
C-3-2 遊敦塾*の運営	・ 鉄道遺産や北前船などの歴史遺産や、海山の食材を活かした「食」をテーマにしたツアーを推進し、敦賀独自の地域資源を活用した祭り参加体験などの企画を造成・販売します。			敦賀観光協会 観光交流課
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	新企画造成、ツアー等募集・実施			
C-3-3 つるが旨いもんマップの作成・配布	・ 食べ歩きマップを作成・配布し、地域資源を活用した物産品や飲食物の認知度拡大を図ります。			敦賀商工会議所
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	つるが旨いもんマップの作成・配布、「お土産情報」発信、ナイトマップの作成・配布			
C-3-4 ホテル・旅館の受け入れ環境整備支援	・ ホテル・旅館の受け入れ環境の整備を支援し、市内宿泊客の満足度向上及びリピーター確保につなげます。			観光交流課
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	補助			
C-3-5 魅力的な観光ルートの造成及び発信	・ 季節や目的・歴史などテーマ・ストーリーを設定した魅力的な観光コースの造成及び発信に取り組みます。 ・ また、観光タクシーの運行など交通事業者と連携した事業を推進します。			敦賀観光協会 敦賀商工会議所 観光交流課
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	事業実施			
C-3-6 店舗等の魅力向上支援	・ 商業事業者等が実施するリノベーション等を支援し、誘客に向けた事業者の機運醸成を促進するとともに、店舗の魅力向上を図ります。			福井県 敦賀商工会議所 商工貿易振興課
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	事業実施			

C-3-7 中小企業のインバウンド 対応支援	・ 中小企業者等が行うキャッシュレスの導入や、商品メニュー・パンフレット等の多言語化事業を支援します。			商工貿易振興課
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度 事業実施	令和7年度	

*遊敦塾:敦賀の伝統行事や自然、産業を活かした体験型の集客・交流プログラムを提供する取組

C-4 デスティネーションキャンペーン、大阪・関西万博を契機としたプロモーションの推進

敦賀駅が北陸新幹線の終着駅となることについて、敦賀を知ってもらう最大の好機と捉え、デスティネーションキャンペーン、大阪・関西万博のタイミングと合わせた、敦賀の魅力を発信するプロモーションを行います。

取組施策	施策内容			実施主体
C-4-1 北陸デスティネーション キャンペーンに向けた取 組の推進	<ul style="list-style-type: none"> 北陸デスティネーションキャンペーンを見据え、敦賀の魅力的な観光素材の集約及び発信を行うとともに、令和5年10月開催の全国宣伝販売促進会議に向けた取組を推進します。 また、インナー及びアウトタープロモーションに力を入れ、市内のおもてなし意識向上、市外での認知度向上を図ります。 			新幹線誘客課 観光交流課
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度 事業実施	令和7年度	
C-4-2 大阪・関西万博に向けた 取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> 大阪・関西万博に向けた国等の動向に注視し、観光素材の更なる磨き上げ等を進めるとともに、関西からの誘客やインバウンドを対象とした出向宣伝・商談会等のプロモーションを行います。 			観光交流課
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度 事業実施	令和7年度	

基本方針 D 観光振興の推進体制の強化

観光事業推進の中心となる(社)敦賀観光協会の運営体制を強化していくとともに、行政と民間が協働で新幹線開業に向けた取組を推進できるよう、官民連携による組織体制強化を推進します。

また、敦賀駅が北陸新幹線の当面の終着駅・始発駅となることで、嶺南地域だけでなく、周辺地域へアクセスするための重要な拠点となることから、近隣地域との連携を図りながら、観光 PR やインバウンド向けのプロモーション活動を推進します。

併せて、2017年の「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ～北前船寄港地・船主集落～」と2020年の「海を越えた鉄道 ～世界へつながる 鉄道のキセキ～」の日本遺産ストーリーを活用し、構成市町村と連携し、一体的かつ広域的な観光振興による地域活性化に貢献していきます。

D-1 広域連携の推進

広域的な観光圏・経済圏を実現するため、周辺地域等との交流や物流の円滑化につながる交通網ネットワークの強靭化、広域観光アプリの構築等に取り組めます。

取組施策	施策内容			実施主体
D-1-1 嶺南地域の観光情報の充実・発信	<ul style="list-style-type: none"> 敦賀駅が嶺南地域の観光拠点となるよう、パンフレットコーナーの充実や新幹線開業にあわせ臨時観光案内機能を設けるなど、観光情報の充実を図ります。 また、新幹線開業に向けた嶺南誘客キャンペーンに県及び嶺南6市町と連携して取り組みます。 			敦賀観光協会
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	嶺南自治体で取り組む可能性を注視			
D-1-2 インバウンド誘客の推進	<ul style="list-style-type: none"> 美浜町や若狭町と連携し、台湾でのインバウンド商談会への共同出展などを行い、誘客を推進します。 			敦賀・美浜・若狭広域観光推進会議 観光交流課
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	インバウンド商談会への共同出展			
D-1-3 JR 西日本が運用する観光型MaaSとの連携	<ul style="list-style-type: none"> JR 西日本が運用する観光型MaaS「tabiwa」と連携し、観光施設等の電子チケットやお得なクーポンの充実を図り、敦賀を訪れる観光客の利便性を高めます。 			観光交流課
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
		事業実施		
D-1-4 広域観光バスの運行	<ul style="list-style-type: none"> 敦賀駅発着の、氣比神宮、金ヶ崎緑地など市内観光地や三方五湖、年縞博物館などを巡る広域観光バスを運行し、広域的な周遊観光を推進します。 			敦賀・美浜・若狭広域観光推進会議 観光交流課
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
		協議・事業実施		

D-1-5 鉄道遺産活用による観光振興推進	<ul style="list-style-type: none"> 明治期の鉄道遺産などの近代化遺産が数多く残る長浜市、敦賀市、南越前町の3市町で組織する長浜市・敦賀市・南越前町観光連携協議会において、日本遺産に認定された「世界へつながる鉄道のキセキ」の構成文化財である旧北陸線トンネル群などの鉄道遺産を活用した広域観光を推進します。 	長浜市・敦賀市・南越前町観光連携協議会 観光交流課						
事業スケジュール	<table border="1"> <tr> <td>令和5年度</td> <td>令和6年度</td> <td>令和7年度</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">→</td> </tr> </table> 鉄道遺産を活用した広域観光の推進	令和5年度	令和6年度	令和7年度	→			
令和5年度	令和6年度	令和7年度						
→								
D-1-6 北前船日本遺産の観光振興推進	<ul style="list-style-type: none"> 日本遺産に認定された「北前船寄港地・船主集落」の構成文化財などを活用した観光振興に推進するとともに、ストーリーにゆかりの深い市町と連携し、広域的な観光誘客策を推進します。 	観光交流課						
事業スケジュール	<table border="1"> <tr> <td>令和5年度</td> <td>令和6年度</td> <td>令和7年度</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">→</td> </tr> </table> ゆかりのある自治体と連携、「北前船寄港地・船主集落」の構成文化財を活用した観光振興の推進、近代化遺産を活用した広域観光の推進	令和5年度	令和6年度	令和7年度	→			
令和5年度	令和6年度	令和7年度						
→								
D-1-7 日本海縦断観光ルートの推進	<ul style="list-style-type: none"> 日本海縦断観光ルート・プロジェクト推進協議会のもと「人材育成・観光交通・情報」の3つのプラットフォームを構築し、WEBサイトの運営や日本海地域の周知に向けたイベントを実施します。 また、各地域を繋ぐ旅行商品の造成を行います。 	日本海縦断観光ルート推進協議会 観光交流課						
事業スケジュール	<table border="1"> <tr> <td>令和5年度</td> <td>令和6年度</td> <td>令和7年度</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">→</td> </tr> </table> WEB サイト運営、イベント実施、各地域をつないだ旅行商品の造成	令和5年度	令和6年度	令和7年度	→			
令和5年度	令和6年度	令和7年度						
→								
D-1-8 杉原千畝ルートの推進	<ul style="list-style-type: none"> 在カウナス(リトアニア)日本領事館の杉原千畝元領事代理に縁ある場所や、その周辺地域への観光客誘客を図るために効果的な周遊ルートの受入環境整備及びプロモーション活動などを実施します。 	杉原千畝ルート推進協議会 人道の港発信室						
事業スケジュール	<table border="1"> <tr> <td>令和5年度</td> <td>令和6年度</td> <td>令和7年度</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">→</td> </tr> </table> 杉原千畝ルート協議会による共同プロモーション活動、インバウンド商談会への共同出展品の造成	令和5年度	令和6年度	令和7年度	→			
令和5年度	令和6年度	令和7年度						
→								
D-1-9 松尾芭蕉「奥の細道」による観光振興推進	<ul style="list-style-type: none"> 「松尾芭蕉杖措きの地・敦賀」を全国に発信するとともに、「奥の細道」ゆかりの自治体と連携し、広域的な観光誘客策を推進します。 	観光交流課						
事業スケジュール	<table border="1"> <tr> <td>令和5年度</td> <td>令和6年度</td> <td>令和7年度</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">→</td> </tr> </table> ゆかりのある自治体と連携、「杖措きの地・敦賀」を全国に発信	令和5年度	令和6年度	令和7年度	→			
令和5年度	令和6年度	令和7年度						
→								
D-1-10 若狭湾サイクリングルートの推進	<ul style="list-style-type: none"> 嶺南を横断する広域サイクリングルート(わかさいくる)を利用したサイクルツーリズムを推進するため、県及び嶺南6市町で連携し、ナショナルサイクリングルートの認定に向けたハード及びソフト整備を進めます。 	敦賀観光協会 敦賀商工会議所 観光交流課						
事業スケジュール	<table border="1"> <tr> <td>令和5年度</td> <td>令和6年度</td> <td>令和7年度</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">→</td> </tr> </table> 事業実施	令和5年度	令和6年度	令和7年度	→			
令和5年度	令和6年度	令和7年度						
→								

D-2 民間と行政の連携体制強化

行政だけでなく、関係機関・団体などとの連携や役割分担も見据えつつ、敦賀市の観光情報を効果的に届ける仕組みや観光活性化を担う組織体制を強化します。

取組施策	施策内容			実施主体
D-2-1 官民連携組織の推進	<ul style="list-style-type: none"> 新幹線開業に向けた取組推進の場である官民連携組織において、情報共有や行動計画の見直し、具体的なプロモーションや開業イベントの検討を行います。 また、開業後も観光振興を担う各団体の相互連携を促し、本市の観光振興への相乗効果を図ります。 			敦賀商工会議所 敦賀観光協会 新幹線誘客課 観光交流課
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度 開業イベントの開催等	令和7年度	→
D-2-2 観光誘客対策	<ul style="list-style-type: none"> 観光の産業化に向けて関係他団体との連携を推進します。 			敦賀商工会議所
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度 関係他団体との連携強化 新幹線敦賀開業まちづくり推進会議、同関連諸会議(ワークショップ含む)	令和7年度	→
D-2-3 まちづくりプレイヤーの発掘・育成	<ul style="list-style-type: none"> 市民発案の企画やそのプレイヤーを発掘、育成するため、敦賀の魅力を発信する取組を創造する場づくり(ワークショップ、発表会)を既存と新規のまちづくりプレイヤーのマッチングを図りながら実施します。 			新幹線誘客課
事業スケジュール	令和5年度	令和6年度 ワークショップ、企画実施	令和7年度	→

6. 推進体制と進行管理

6-1 役割分担と推進体制

本計画を推進していくためには、市民やボランティア団体、観光事業者、観光施設、宿泊施設、その他専門団体がお互いに密に連携を図り進めていかなければなりません。そのために、それぞれが期待される役割を担うことが望まれます。

6-2 推進体制

本計画の総合的かつ計画的な推進と進捗状況の確認等を行いながら各関係者と連携を図り、観光振興施策を推進していきます。

また、北陸新幹線敦賀開業に向けた施策については、新幹線敦賀開業まちづくり推進会議が進捗を管理する行動計画と整合を図りながら、進めていきます。

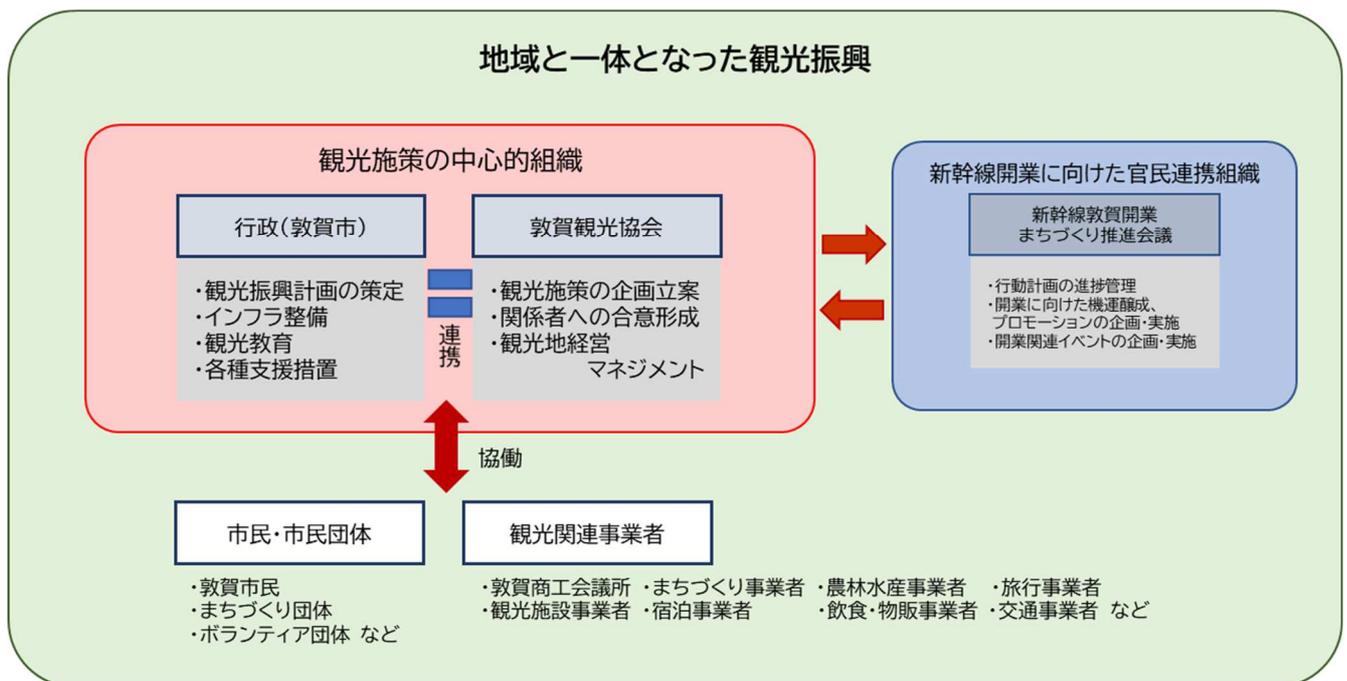


図 13 観光振興の推進体制

6-3 進捗評価

本計画で設定した施策や具体的な事業の実施にあたっては、事業の進捗管理を円滑に進める手法の1つであるPDCAサイクル(Plan-Do-Check-Act cycle)を導入し、Plan(計画)⇒ Do(実行)⇒ Check(評価)⇒ Act(改善)の仮説・検証型プロセスを循環させることによって、取組みを継続的に改善していきます。

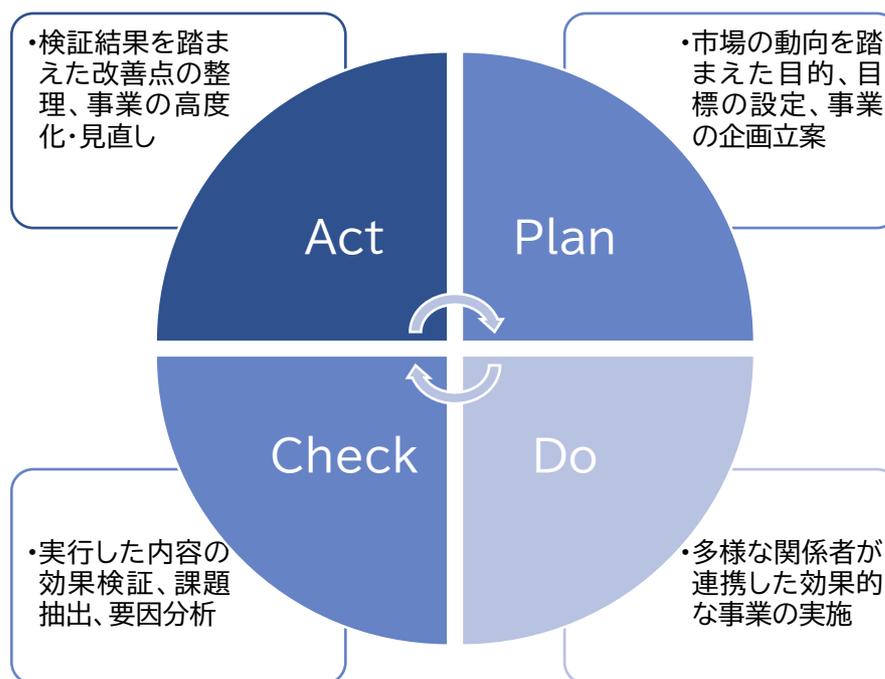


図 14 進捗評価

敦賀市観光振興計画
令和5年3月

敦賀市観光部観光交流課

TEL 0770-22-8128 FAX 0770-22-8184

URL <http://www.city.tsuruga.lg.jp/index.html>

